



よりよい国保制度を

①今年度は負担増を抑えるため税率・税額を抑えた。それによる不足分は繰越金を当てるので、単年度収支はマイナスになる見込み。基金の取り崩しもありうる。所得状況、国の補助金、繰越金等を勘案しながら来年度の税率を試算する。
②被保険者の構成や社会情勢が変化する中で、国庫支出金を元に戻すことは簡単ではないと考えられる。各自自治体と協議の中で判断していく。



大森正治議員

国保税の引き下げはできる

町長

むずかしい

問

「国民健康保険税は高い。引き下げてほしい。」という声は、低所得世帯ほど切実な願いである。国保税の滞納者は平成21年6月現在379世帯(国保加入者の12.7%)、短期保険証と資格証の発行世帯は同年4月現在316世帯(同10.6%)ある。これは、経済情勢の悪化と相まって国保税

が高くても払いたくても払えないという状況を物語っている。

①1億円以上もの繰越金があるのは、取り過ぎだからだ。余ったり返すのが当然。基金も3億8000万円もある。1億円を取り崩すだけで、一人1万円の引き下げが2年間可能である。次年度の国保税は引き

下げるべきと考えるがどうか。

②国保税が高い元凶は、国庫支出金が1/2から1/3に減ったことにある。元に戻すよう自治体として国へ制度改善を求める考えはないか。

答 森田町長

①今年度は負担増を抑えるため税率・税額を抑えた。それによる不足分は繰越金を当てるので、単年度収支はマイナスになる見込み。基金の取り崩しもありうる。所得状況、国の補助金、繰越金等を勘案しながら来年度の税率を試算する。

全国学力テストには不参加を

教育委員長

参加したい

問

全国学力・学習状況調査(学力テスト)は今年度まで3年間実施されたが、政権が代わって来年度から抽出調査に変わる事になった。その調査への事前の意向調査にどう回答したのか。

このテストには効果もある反面、序列化による弊害を生み出すことにもなる。実際に反教育的な事例が出ている。

プラス面といわれる生活習慣と学力との相関関係については、1回やればわかることであって、



よりよい教育は?

すでに必要なデータは得られた。

だから、全国学力テストに参加する必然性はない。

抽出調査の対象外になった場合でも、このテストに参加する意思があるのか。

答 伊澤教育委員長

事前の意向調査では、「参加する」と返事した。テストの調査結果を、家庭や地域と共有することで新しい連携の動きが

出てきており、好ましいことと評価している。

基本的には、前向きに参加したいと考えている。

答 山根教育長

まだ十分ではないと思っ

ている。教育にも適正な競争は刺激を与え、大切なことと思う。

このほかに、小規模作業所「ほっとサロン」の存続を求めて質問した。